

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第817号



日本共産党高知県議会活動報告ニュース

2016年10月9日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

米軍の訓練空域の 拡大に反対を！ 県議会代表質問で追求

4日、代表質問に立ちました。平和行政について知事に質問。政府がこの11月から四国沖などに米軍訓練空域を設定することになっており、県民生活への影響をどうとらえているか。

裁判後、記者会見する原告団
9月30日、高知市
(赤旗日刊紙 10月2日付より)



“安保法制は憲法違反”

高知地裁口頭弁論原告が意見陳述

安保法制(戦争法) 川村高子さん(97)は、自衛官だった父が「平和憲法により、あらゆる戦争の回避が可能だった」と語った言葉が心に残っていると語り、「全国の自衛隊員の家族の不安は容易に想像できます。70年の平和の歴史を壊してしまう安保法制の危うさを認識しないといけない」と指摘しました。

安保法制(戦争法)によって憲法が保障する平和的生存権などが侵害され、精神的苦痛を受けたとして、高知県内の32人が国に一人当たり10万円の賠償を求めた訴訟の第1回口頭弁論が9月30日、高知地裁(石丸将利裁判長)で開かれました。

戦争経験者ら3人が意見陳述し、戦争できないうたいを亡くし、自身も教師として教え子を戦争に送ったという

川村高子さん(97)は「戦争は人をモノのように扱います。国民の意見を聞かずに強行し、私たちを戦争に近づけ、教え子を戦場に送らないという信念も踏みにじりました」と強調。高知大空襲で母と妹を亡くした岡村正弘さん(79)は「日本がまた加害者になり、テロで国民が被害者になるかもしれない。絶対に許してはいけません」と語りました。

岡崎徹原告団長(66)は、自衛官だった父が「平和憲法により、あらゆる戦争の回避が可能だった」と語った言葉が心に残っていると語り、「全国の自衛隊員の家族の不安は容易に想像できます。70年の平和の歴史を壊してしまう安保法制の危うさを認識しないといけない」と指摘しました。

訓練による危険の増大が懸念され、反対を、へき、と憤りました。

知事は、岩国基地と訓練空域間は一定の高度以上で飛行するとき、係に超高空の飛行訓練が増加する。いば、しっかりと米軍に是正を要請するとの答弁にとどまりました。

なるがも日記

No. 815

4日に代表質問に立ちました。介護保険の改定や「地域医療連携」、救職員の多忙化解消問題、伊予原発や再生可能エネルギーの問題等と質問。主なやりとりはこのニュースでもお伝えしていきたいと思えます。

代表質問を終えて、ホッと一息ですが、議案審議の常任委員会が待ち受けています。議案書とニラメッコの日々が続きます。

11日(火)の10時45分からは米田県議が質問に立ちます。ぜひ傍聴におこし下さい。